



小児緩和ケアガイド

大阪府立母子保健総合医療センター

QOL サポートチーム＝編

本体 3800 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

小児専門病院の編集によりコミュニケーションやフレバーレーション、病状説明、家族のケアなどのトピックから、症状マネジメント、在宅ケア、臨死期の対応、医療者のメンタルヘルス対策まで小児の緩和ケアに必要な知識とノウハウをわかりやすく解説。小児の日常臨床や療養生活にもいける1冊。フェイスベインスケール/オピオイド力価表/定規のつったポケットカード付。

病気の子どもを
ひとりの人間として
みるために

病気の子どもたちに「心豊かに暮らす」という「医療的な目標」を
実現させることが小児医療の真の目的です。
本書はそのためのガイドです。

医学書院



鎌谷先生推薦！

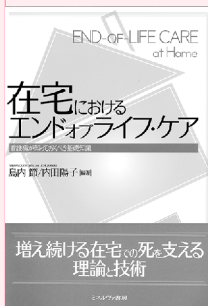
大阪府立母子保健総合医療センター
QOLサポートチーム

在宅におけるエンドオブライフ・ケア 看護職が知っておくべき基礎知識

島内節・内田陽子＝編著

本体 2600 円＋税

ミネルヴァ書房 ☎ 075-581-5191



「わが国では、多死社会が進行中であり、在宅でのエンドオブライフ・ケアはますます増大することが予測される（はじめに）より。国の政策から、人生の最期の時間を在宅で過ごす人々を支える医療・福祉の専門職への要求や期待が高まっている。エンドオブライフ・ケアの実際やさまざまな場面での問題解決につながる字びがここにある。

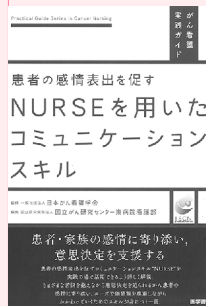
《がん看護実践ガイド》

患者の感情表出を促す NURSE を用いた コミュニケーションスキル

日本がん看護学会＝監修

本体 3000 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657



「Naming＝命名 Understanding＝理解 Supporting＝支持 Exploring＝提案」の頭文字から成る「NURSE」を用いて、患者・家族の感情表出を促し、心に寄り添い、意思決定を支援する「コミュニケーションスキル」をガイドする。国立がん研究センター東病院看護部での取り組みと、トレーニングの実践を紹介。

認知症の人たちの小さくて大きなひと言 私の声が見えますか？

永田久美子＝監修

本体 1700 円＋税

harunosora ☎ 044-934-3281



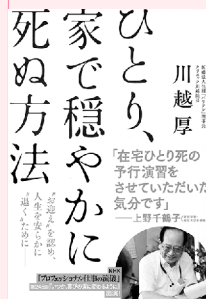
認知症を抱えて生きる人たちの発したひと言を、傍らで見守る家族や介護・医療の専門職がとらえ、形にした「声の見える」本。心に響くその一言と、そこに表われた思いをつづった。伝えられた情景、深い思いは、私たちの心を揺さぶるとともに、ケアする人々を勇気づけ、読む人の心を洗ってくれる。

ひとり、家で穏やかに死ぬ方法

川越厚＝著

本体 1300 円＋税

主婦と生活社 ☎ 03-3563-5121



在宅ホスピスのパイオニア、川越厚医師の語る、ひとり身のがん患者たちの家で、の最期。がんを抱え、孤独と闘う日々を過ごすなか、在宅医療・介護チーム、近隣住民やボランティアによって支えられ、お迎えが近いことを受け容れる。周囲を信じて安らかに最期を迎えるその姿から、これからの生きる者が学ぶことは多い。